

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

健康で豊かな人生をすべての人に。医療費増大、地域格差、生活習慣病、労働力不足といった課題をデータとICTで解決し、持続可能なヘルスケアシステムを実現。

保険者加入者数
2,000万人

Pep Upユーザー
700万人

国民医療費
46兆円

② 中長期の経営戦略

1. 高付加価値化・データ拡充

アップセル・クロスセルを通じてデータ利活用サービス取引額を最大化。コンサルティング・アプリケーション開発強化し、レセプト・健診・活動量・ゲノム等の複合データ利活用で因果解析を実現。

3. PHRサービス普及拡大

Pep Upを国民的サービス化。従業員個々人の健康状態から高リスク対象者抽出し、データ介入・効果測定で投資対効果を導入。重症化予防・保健指導・健康コンテンツ・インセンティブ提供を展開。

2. 医療価値創出と効率化

AI-RADプラットフォーム開発。胸部X線肺炎検出AI（COVID-19）で薬事承認取得。親会社オムロンとの資本業務提携で予防ソリューション開発・海外展開推進。

③ 対処すべき課題

① データベース拡大

- ・量・質の両面でデータ種類を拡大し民間最大級のヘルスケアデータベース地位を堅持

② データ利活用促進

- ・アドホック販売・データベース販売から解析・コンサルティング・ソリューション開発への転換
- ・付加価値高いサービス提供で顧客満足度向上

③ PHRサービス充実

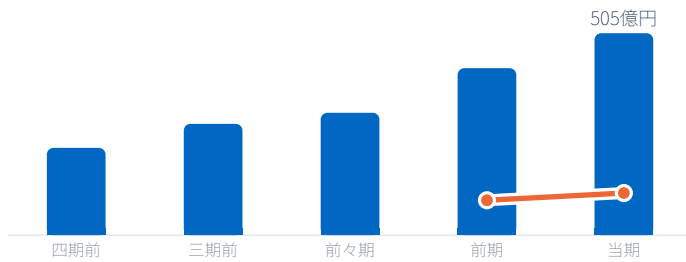
- ・データ解析技術とPep Upでターゲティング・効果予測を実現
- ・国民医療費抑制への貢献

面接で使えるポイント

- ・2025年問題や医療費増大といった社会課題を、データとICTで日本から世界へ解決するビジョン。
- ・Pep Upで700万人超、保険者加入者2000万人に迫る規模まで成長し、46兆円の国民医療費抑制を目指す。
- ・オムロンとの資本業務提携で、AI-RAD等の医療イノベーション開発と海外展開に取り組む成長戦略。

証券コード 4483

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
505億円営業利益率
20.8%財務健康度
68点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 63.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
823万円

情報・通信業内 86位/592社

平均年齢
39.4歳

情報・通信業内 219位/593社

平均勤続
4.5年

情報・通信業内 405位/593社

女性管理職
15.6%

情報・通信業内 161位/373社

男性育休
78.6%

情報・通信業内 172位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株) J M D C 【4483】：決算情報

